

第3回10月 東大本番レベル模試 (2022年10月16日実施)

【1】-A (10点満点)

- 【例1】戦争、災害など不安定でストレスの多い状況で人が儀式にすぎるのは、予測可能な行為が現実の不安を軽減し、また同一の行動を通じて共同体として一体感を得られるからだ。(79字)
- 【例2】儀式は予想可能なので、状況を制御している感覚が不安を和らげ、さらに共同作業を通して帰属意識を得られるため、不確実な時代には人の行動が儀式化する傾向がある。(77字)

| | |
|---------------|--|
| 必須項目 (10点) | <p>① (2点) 「人々は不確実な時代により多くの儀式を行う。／ストレス状態で行動がより儀式化する傾向がある。／周囲のあらゆるものが変化していると、…」</p> <p>... people across cultures tend to perform more rituals in times of uncertainty. I found that under conditions of stress people's behavior tends to become ... more ritualized. But when everything around us is changing, ...</p> <p>▶ (2点) 「儀式」(ritual) および「不確実な時代」「ストレス状態／あらゆるものが変化しているとき」の両方が必須。いずれかがないものは2点減点。 ×ritualに「式／祭式／祭典／儀礼／作法／慣習／セレモニー」など不可。</p> <p>② (4点) 「儀式は高度に構造化され繰り返しを含むため、予想可能である。儀式は日常生活の混沌に秩序を押しつけることで自分が制御しているという感覚を与え、不安を和らげる」</p> <p>Rituals are highly structured. ... And they involve repetition: The same actions are done again and again. In other words, they are predictable. ... rituals provide a sense of control by imposing order on the chaos of everyday life. What matters is that it is an efficient way of relieving anxiety.</p> <p>▶ (2点) 「予想可能」(predictable)に相当するものがないものは2点減点。 ×「高度に構造化された」(highly structured)は「予想可能」と認めない。 ×「繰り返し」(repetition)は「予想可能」と認めない。</p> <p>▶ (2点) 「不安を和らげる」(relieving anxiety)に相当するものがないものは2点減点。 ○「制御の感覚」(a sense of control)は「不安を和らげる」と認めて減点しない。</p> <p>③ (4点) 「集団で行う儀式には協調が必要となる。協調して行動し共有体験を作り上げることで、儀式は個人を共同体に変える帰属感と一体感を生み出す」</p> <p>Moreover, collective rituals require coordination. By coordinating behavior and creating shared experiences, rituals produce a sense of belonging and common identity which transforms individuals into united communities.</p> <p>▶ (2点) 「協調」(coordination)または「共有体験」(shared experiences)に相当するものがないものは2点減点。 ○「連携／連帯／協力／共同作業／同じ行動」は「協調」と認める。 ○「ひとつになって行動する(acting as one)」も可。</p> <p>▶ (2点) 「帰属感」(a sense of belonging)または「一体感」(a sense of common identity)に相当するものがないものは2点減点。 ○「個人を共同体に変える」(transforms individuals into united communities)は「帰属感／一体感」と認める。 ○「所属感／所属 [帰属] 意識／連帯感」など同等と認められるものは広く認める。 ○「ひとつになったと感じる(feel as one)」も可。</p> |
|---------------|--|

- ① 内容の不足は上記配分で減点。内容の順序は問わない。
- ② その他、誤訳、不適切な表現は1箇所につき2点減点。
- ③ 字数制限を満たさないものは0点。

【2】－A (12点満点)

【例1】

Learning through individualized curriculums created by AI will become more and more popular. AI is highly effective in our learning that requires memorization and repetition because it can present learners with the necessary contents and amount of learning. On the other hand, it would not be really helpful for learning that primarily requires thinking or experiencing. Nevertheless, efficient rote learning with AI curriculums allows us to gain extra time for other learning, which is a great advantage. (77 語)

(AI が作成する個別カリキュラムでの学習は、ますます普及するだろう。AI は、学習者に必要な事柄や学習量を提示することができるので、暗記や反復が必要な学習において、とても効果的だ。一方、主に思考や体験を必要とする学習にはあまり役に立たないだろう。とはいえ、AI カリキュラムを用いた効率的な暗記学習によって、他の学習のための時間を余分に確保できるのだから、それは大きな利点だ)

【例2】

It is important not to rely too much on AI-based learning. Indeed, personalized curriculums generated by AI can be very useful for studying, such as checking for examinations, in that they indicate what you should prioritize in a limited amount of time. However, if you leave all to the AI's judgment, you may lose the chance to develop the ability to find issues and think about what to do on your own. (72 語)

(AI に基づく学習に頼りすぎないことが大切だ。確かに AI が作り出す個別カリキュラムは、限られた時間の中で何を優先すべきかを示してくれる点で、テストのための確認などの学習に非常に役立つこともある。しかし、AI の判断にすべてを委ねてしまうと、自分自身で課題を見つけ、何をすべきかを考える力を養う機会を失ってしまうかもしれないのだ)

【例3】

AI curriculums can be good servants, but bad masters if not used properly. Since AI makes decisions based on large amounts of data, it can make better decisions than humans and may discover issues that you are not aware of. But what if the AI's algorithm or system design is inadequate? The AI may recommend an inappropriate curriculum. Therefore, it is better to make final decisions by yourself, using AI as a guideline. (73 語)

(AI カリキュラムは、良い召使いになることもあれば、適切に使用しなければ悪い主人になることもある。AI は大量のデータを基に判断を下すので、人間よりも適切な判断ができ、人が気づかない問題点を発見できるかもしれない。しかし、AI のアルゴリズムやシステム設計が不十分だったらどうだろう？ AI は不適切なカリキュラムを推奨する可能性がある。だから、最終的な判断は、AI を参考にしながら、自分自身で行うほうがよい)

1. 文法・語法・綴りの誤りは1箇所につき**2点減点**。同じ誤りでもすべて減点。
2. 語数制限(60～80語)を満たさないものは**0点**。
3. 内容面で下記に該当するものは、それぞれ該当の点数を減点。

ポイント1 「人工知能(AI)が作成する(自分専用)カリキュラムで学習する」

- *「人工知能(AI)が作成する(自分専用)カリキュラムで学習する」に無関係なもの、言及のないものは**12点減点**。
- *「人工知能(AI)が作成する(自分専用)カリキュラムで学習する」から、内容がずれているものは**6点減点**。

ポイント2 「(人工知能(AI)が作成する自分専用カリキュラムで学習する) ことについて、どう思うか」

- *「人工知能(AI)が作成する自分専用カリキュラムで学習する」をただ説明しているだけで自分の考えがないものは**6点減点**。

ポイント3 「(人工知能(AI)が作成する自分専用カリキュラムで学習することの) 利点と欠点の両方に触れて」

- *「利点と欠点」のどちらにも触れていないものは**6点減点**。
- *「利点」あるいは「欠点」の片方だけにしか触れていないものは**4点減点**。
- *論旨が一貫していない/論旨に無理があると採点者が判断できるものは**4点減点**。

*語数を増やすため設問とは無関係なことを述べて脱線しているものは、その部分を**6点減点**。

【2】－B（12点満点）

【例1】

Rather [rather] than arguing that this trend is a reflection of the busy world, it would be more sensible to think that our long-held desires have been revealed by new convenient functions, wouldn't it?

（この傾向は忙しい世界の反映だと論じるよりもむしろ、私たちが長く抱いてきた願望が便利な新機能により明らかになったと考えるほうがより理にかなっているのではないだろうか）

【例2】

Instead [instead] of thinking that such a trend is a product of our fast-paced society, wouldn't it make more sense to assume that the useful functions of new technologies have revealed desires that people have had for a long time?

（そのような傾向は歩調が速い私たちの社会が生み出したものだと考えるのではなく、新しい技術の役立つ機能が、長年人々が抱いてきた欲求を明らかにしたと想定するほうがより理にかなっているのではないだろうか）

【例3】

It [it] might be more reasonable to think that this trend is not so much a reflection of our time-pressed society as an expression of our long-time desires in response to convenient functions that were not available before.

（この傾向は時間に追われる私たちの社会の反映というよりもむしろ、以前には利用できなかった便利な機能を受けて、私たちが長く抱いてきた願望が表れたと考えるほうがより合理的だろう）

1. 文法・語法・構文・綴りの誤り、不適切な訳語…すべて1箇所につき**2点減点**。同じ誤りでもすべて減点。

2. 以下の①～⑥の区分に指定の得点を配分。

【問題】

こうした傾向はせわしない世の中の反映だというよりもむしろ、以前にはなかった便利な機能によって、人々にもともとあった欲求が表面化したと考えるほうが理にかなうのではないか。

①「こうした傾向はせわしない世の中の反映だ」(2点)

※文頭は大文字・小文字どちらでも認める。

②「～というよりもむしろ」(2点)

③「以前にはなかった便利な機能によって」(2点)

④「人々にもともとあった欲求が表面化した」(2点)

⑤「と考える（ほうが理にかなう）のではないか」(2点)

※「のではないか」の弱めるニュアンスがない断定的な言い切りは不可。

（助動詞、疑問文、付加疑問文、I wonder[think] など）

⑥「ほうが理にかなう」(2点)

※比較のニュアンスがないものは不可。

【4】－B（ア）（4点満点）

<問題部分>

Does it not matter what you believe so long as you believe something?

<例1>

自分が何かを信じてさえいれば、何を信じるかは問題にならない、とでもいうのか？

<例2>

何かを信じている限り、何を信じているかはどうでもいいことなのか？

| 区分 | 配点 | 具体事例 |
|--|----|--|
| Does it not matter what you believe? 何を信じるかは問題ではないのか | 2点 | <p>×it（形式主語）に「それ」は不可。</p> <p>○what を「こと／もの」と訳しているもの（先行詞を含む関係代名詞ととっているもの）も文意が通じれば減点しない。</p> <p>×believe に「信用する／考える」は不可。</p> |
| so long as you believe something 何かを信じている限り／信条を持って さえいれば | 2点 | <p>○so long as は「～である限り／～でありさえすれば／～ならば」など可。</p> <p>×something の訳抜けは原則不可。</p> |

- ① 上記の区分に分けて配点。区分内に1か所でも誤りや訳漏れがあればその区分は0点。
- ② 語句の誤訳、訳漏れ、英語のまま、不自然なカタカナ書きは減点。
- ③ 構文を理解した上での意識と認められるものは減点しない。

【4】－B (イ) (4点満点)

<問題>下線部 (イ) の具体的な内容を 50 字以内の日本語で説明せよ。

This shorthand causes a mental short circuit

<例 1 >

進化論を進化と省略すると、それが科学の仮説であることを忘れて、宗教的啓示に対するような姿勢になる。(49 字)

<例 2 >

進化論を短く進化と言うことで、事実に基づく仮説を、聖書にある神の啓示と同じ態度で考えてしまうこと。(49 字)

① 51 字以上は 0 点。

② 次の (1) (2) が必須項目。

(1) 「進化論を進化と省略する」に相当するもの (これがないものは**2点減点**)

(該当表現) *the word evolution to signify the theory of evolution*

○ 「進化論の論を省略する」は認める。

○ 「進化論を進化と言う [呼ぶ] / 進化論の代わりに進化を用いる」なども可。

× 「進化」がないもの (「進化論を省略して言う」) は不可。

× 「進化論」「進化」を英語で書いているものは不可。

(2) 「仮説と (神の) 啓示を同列に並べる」に相当するもの (これがないものは**2点減点**)

(該当表現) *a false parallel between a hypothesis (concerning observed fact) and a revelation (from God, as recorded in the Bible)*

○ *revelation* は「(神の) 啓示 / 天啓 / 黙示 / お告げ / 神の言葉」など可。

○ 以下のようなものは可。

・「仮説と啓示を同じように扱う / 同様に考える」

・「仮説と啓示の間に間違った類似点を作り出す」

・「仮説と信仰を混同する」

・「科学 [観察された事実] と宗教 [聖書 / バイブル] を混同する」

【4】－B（ウ）（4点満点）

<問題部分>

They rise from profoundly different ways of looking at the same world — different ways of coming at reality: the material and the spiritual.

<例1>

それぞれの元にあるのは、物質的と精神的という、同じ世界を見る際の大きく異なる観点、現実を把握する際の大きく異なる方法である。

<例2>

両者は、同じ世界を見るのにまったく異なった見方をすることから生じる。つまり、物質的な見方と精神的な見方という、異なる方法で現実を捉えているのだ。

<例3>

両者は、同じ世界を見るまったく異なる方法、つまり現実を把握する（まったく）異なる方法から生じる。それは物質的な方法と精神的な方法である。

| 区分 | 配点 | 具体事例 |
|--|----|--|
| They rise from profoundly different ways of looking at the same world それらは大いに異なる、同じ世界の見方から生じる | 2点 | <ul style="list-style-type: none"> ×They を説明している場合、They を「進化論を受け入れることと神を信じること」あるいは「科学的理論を受け入れることと超越的な存在を信じること」以外ととっているものは不可。 ×profoundly の訳抜け・不適切なものは－1点。 ×same の訳抜け・不適切なものは－1点。 |
| different ways of coming at reality 現実に到達する異なる方法 | 1点 | <ul style="list-style-type: none"> ×different ways of looking at the same world を言い換えたものとわかっていないものは不可。 ○「現実に対する異なる見方」も可。 ○coming at ～ は「～に到達する／達する」、「～を捉える／把握する／理解する」のほか「～に近づく」も可。 ○「現実を把握する際の異なる方法」、「異なる方法で現実を捉えている」なども可。 |
| : the material and the spiritual 物質的な（方法）と精神的な（方法） | 1点 | <ul style="list-style-type: none"> ×the material (way) and the spiritual (way) だとわかっていないもの（単に「物質と精神である」など）は不可。 ○material の訳は「科学的／物理的」も可。 ○spiritual の訳は「心的／霊的」も可。 ×spiritual の訳に「スピリチュアル」は不可。 |

- ① 上記の区分に分けて配点。第1区分の profoundly/same の－1点以外は、区分内に1か所でも誤りや訳漏れがあればその区分は0点。
- ② 語句の誤訳、訳漏れ、英語のまま、不自然なカタカナ書きは減点。
- ③ 構文を理解した上での意識と認められるものは減点しない。

【5】－(A) (4点満点)

<問題>

下線部(A)はどのようなことを意味しているか、わかりやすい日本語で説明せよ。

I don't feel like I've sold out.

<例1>

やりたくない仕事をして金を儲けているという気分にはならない。

<例2>

自分を切り売りしている気分にならなくてすむということ。

- ① 字数制限なし。
- ② 次の(1)(2)が必須項目。

(1) 「やりたくないことをして金(かね)をもらう」に相当するものがないものは**4点減点(0点)**。

該当箇所：I've sold = (Like) doing something you really never wanted to do, and getting paid (too much for it)

- 「儲ける／稼ぐ／生計を立てる／給料をもらう」は「金をもらう」と認める。
- △ 「やりたくないこと [いやな仕事] をする」だけで「金をもらう」がないものは**－2点**。
- 「(自分を) 切り売りする／売り払う／売り飛ばす／身売りする」は「やりたくないことをして金(かね)をもらう」に相当すると認める。
- I've sold の時制は、現在・過去・現在完了(完了・結果、経験、継続) いずれでも認める。
- × 「売り切れる／売り切る」は不可。

(2) (1) が適切なものについて、I don't feel like 「～という気持ちにはならない」に相当する部分が**不適切なものは1点減点**。

- I の訳は不問。(自分／人／あなた／I の訳がないなど)
- 「～の気分にならなくてすむ／～のように感じない」など可。
- × 「～したくない」は不可。

【5】－(B) (3点満点)

<問題>

下線部(B)を和訳せよ。

There was, it seemed, a way of spotting those not native to the town.

<例1>

どうやら、その町の出身でない人を見抜く方法があるようだった。

<例2>

地元の生まれではない人たちの見分け方があるらしかった。

| 区分 | 配点 | 具体事例 |
|--|----|--|
| There was, it seemed, ~ ~があるようだった | 1点 | ×It seemed that there was ~ だとわかっていないものは不可。 ×it (形式主語) に「それ」は不可。 ×seemed を現在時制で訳しているものは不可。(例「~があるようだ」) |
| a way of spotting 見分ける方法 | 1点 | ×way の訳抜けは不可。 ○spot は「見分ける／見抜く／言い当てる／指し示す／察知する／目星をつける／特定する」など可。 |
| those not native to the town その町の生まれでない人を | 1点 | ×those が「人」だとわかっていないものは不可。 ×those に「あの／その／あれらの／それらの (人)」は不可。 ×not native 以下が those にかかる形容詞句だとわかっていないものは不可。 ○those not native to the town の意識は広く認める。(例「その町によそから来た人／地元出身者以外／地元民でない人」など) |

- ① 上記の区分に分けて配点。区分内に1か所でも誤りや訳漏れがあればその区分は0点。
- ② 語句の誤訳, 訳漏れ, 英語のまま, 不自然なカタカナ書きは減点。
- ③ 構文を理解した上での意識と認められるものは減点しない。

【5】－(C) (3点満点)

(正解) which made her glad she hadn't said something like

- ・別解なし。(3点か0点で採点)
- ・綴りの誤りは1文字でも不可(−3点)。
- ・大文字小文字は不問。